

2015/2016 スケルトン国際競技会派遣選手選考基準

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手は、以下の基準に基づき競技委員会で協議し、理事会に推薦・承認手続きを経て決定する。

【選考方針】

1. 日本代表として、十分な活躍が期待でき日本連盟が掲げる平昌五輪での目標を達成できる可能性を有する選手を選考する。
2. 日本代表として、将来の活躍が期待でき次世代を担う将来有望な選手を選考する。
3. 行動規範を遵守し、すべてに規律ある行動のとれる選手を選考する。

【派遣方針】

1. ワールドカップには、平昌五輪で目標を達成する確率が高い選手、及び可能性のある選手を派遣する。
2. インターコンチネンタルカップには、平昌五輪で目標を達成する見極めが必要な選手、及びワールドカップ出場枠を確保する為に必要な選手を派遣する。
3. ヨーロッパカップ、アメリカンズカップには、国際大会経験の浅い将来有望な選手、及び将来有望選手のコーチを務められる選手を派遣する。

【出場に関する制限】

世界選手権、ワールドカップ、インターコンチネンタルカップに出場する選手は、過去 24 か月間に於いて 3 競技会場、5 大会（国際連盟主催大会）に出場していなければならない。

【選考基準】

1. マイケルヘッドコーチが選手評価したランク（A,B,C,D）を選考基準の基本とする。

【評価説明】 A(平昌五輪で目標を達成する確率の高い選手)、B(平昌五輪で目標を達成する可能性のある選手)

C(平昌五輪で目標を達成する見極めが必要な選手)、D(平昌五輪で目標を達成する可能性の無い選手)

2. 対象競技会：

①平成 27 年度派遣選手選考プッシュ記録会と 30m 加速走・立ち幅跳び（9 月 5、6 日予定）

プッシュ記録会：スパイクシューズ使用不可、体重別プッシュソリ重量変動あり（6 日）

30m 加速走：スパイクシューズ使用有と無の記録測定（5 日）

立ち幅跳び：スパイクシューズ使用有と無の記録測定（5 日）

②平成 27 年度全日本プッシュ選手権（9 月 20 日予定）

プッシュ選手権：スパイクシューズ使用可、プッシュソリ重量共通

③平成 26 年度冬季国内外大会

(1) 対象競技会の記録と成績から選手の能力を見極め選考する。

(2) 対象競技会の記録と成績から次の事を行う。

マイケルヘッドコーチが選手評価したランク選手の能力の見極めとその妥当性の検討

①②の結果から選手の派遣競技大会の検討

EC,AC 派遣男女の選手選考の検討

(3) 対象競技会①②には、選手の能力を見極める為に派遣目標タイムを設定する。

①派遣選手選考プッシュ記録会（男子 5.35～5.39 秒、女子 5.90～5.95 秒）

②全日本プッシュ選手権（男子 5.20～5.24 秒、女子 5.75～5.80 秒）

(4) 上記の選考基準で判断出来ない場合には、競技委員会の協議によって選考する。